

# 北播磨総合医療センター改革プラン 平成30年度実施状況の点検・評価報告書

令和元年8月

北播磨総合医療センター改革プラン評価委員会(以下「評価委員会」という。)は、北播磨総合医療センター改革プラン(以下「改革プラン」という。)の平成30年度実施状況の点検・評価を実施しましたので、次のとおり報告いたします。

## 1 評価方法

改革プランの各項目の実施状況について、北播磨総合医療センターから提出された改革プランの実施状況及び自己評価を検証し、評価委員会の総意を取りまとめる形で、点検・評価とした。

## 2 評価委員会

委員長	明石 純	関西学院大学大学院経営戦略科教授	学識経験者
副委員長	黒田 昭	三木市医師会顧問	医療関係者
副委員長	西山敬吾	小野市加東市医師会長	医療関係者
委員	小田美紀子	コウダイケアサービス株式会社 執行役員 (元兵庫県看護協会専務理事)	医療関係者
委員	阿南 徹	済生会兵庫県病院事務部参事 (前同病院事務長：三木市在住)	市民代表
委員	土井嘉彦	公認会計士 (元企業団監査委員：小野市在住)	市民代表

## 3 点検・評価

### (1)総評

改革プラン実施状況の点検・評価について、評価基準を(2)のとおり定め、評価項目について、委員会で図った結果、(3)及び(4)のとおりとなった。

総じて概ね計画を達成しており、改革プランの進捗としては順調に推移しているものと評価する。

引き続き、計画的なプランの実行により経営の効率化を図るとともに、地域の基幹病院として高度な医療供給体制の充実に努められたい。

## (2)評価基準

評 価	評価の基準
S	特によくできた（全国的に模範とされるような成果）
A	よくできた（プランの数値を大幅に上回っている）
B	概ねできた（プランの数値をほぼ達成している）
C	あまりできていない・できていない（プランの数値に未達）

## (3)評価項目

	S	A	B	C
1 医療機能の再編による医療供給体制の充実	0	1	2	0
2 地域包括ケアシステムの構築に係る地域医療連携の推進	0	1	2	0
3 医療従事者の育成と確保	0	1	5	0
4 経営効率化	0	1	6	0
5 経営の安定性	0	0	4	0

## (4)各項目の評価

### < 1 医療機能の再編による医療供給体制の充実 >

病床機能、病棟稼働の計画について、計画どおり4階東病棟をフル稼働しておりBとする。

医療機能・医療品質の確保について、小児救急患者数は前年度実績及び計画を下回っているが、その他の項目は前年度実績を上回っておりAとする。急性期医療を担う地域の基幹病院としての役割が充分果たされていると思われる。

先端医療の推進について、概ね前年度実績を上回っておりBとする。

### < 2 地域包括ケアシステムの構築に係る地域医療連携の推進 >

地域医療連携の推進について、すべての項目が前年度実績を上回っておりAとする。特に逆紹介率は前年度実績を大きく上回っており、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携強化に努めていると思われる。

入退院支援サポートの推進について、前年度実績及び計画を上回っておりBとする。

かかりつけ医制度の推進について、計画を上回っておりBとする。

### < 3 医療従事者の育成と確保 >

実習生の受入について、概ね計画を達成しておりBとする。

医師の確保について、高く設定した計画を概ね達成しており、全国的な公立病院の医師の確保状況と比べ順調であるためAとする。特に初期研修医、専攻医の確保が順調であると思われる。

医療技術員の確保について、概ね計画を達成しておりBとする。

看護師の確保について、概ね計画を達成しておりBとする。

事務職員の確保について、計画を達成しておりBとする。

プロパー管理事務職員の確保について、計画を達成しておりBとする。

#### < 4 経営効率化 >

収支改善について、前年度実績及び計画を上回っておりBとする。

患者数の確保について、前年度実績を上回っておりBとする。

診療単価の向上について、入院単価、外来単価は前年度実績を大きく上回っておりAとする。平均在院日数の短縮等により診療単価の引き上げが図られ診療収入の増収につながったと思われる。

職員給与費について、対診療収入比率は前年度実績及び計画を上回っておりBとする。

材料費について、対診療収入比率は前年度実績より増加し計画を達成していないが、診療収入の増収に伴う増加もありBとする。

委託料について、概ね計画を達成しておりBとする。

経費について、概ね計画を達成しておりBとする。

今後、材料費と経費については、診療収入の増収に伴う増加を抑制していく必要があると思われる。

#### < 5 経営の安定性 >

組織運営について、計画どおり人事評価結果を賞与に反映しておりBとする。

請求業務の改善について、前年度実績及び計画を上回っておりBとする。

滞納整理について、過年度未収（滞納）残高は前年度実績及び計画を下回っているが、その他の項目は前年度実績を上回っておりBとする。

内部留保資金について、前年度実績及び計画を上回っておりBとする。今後も収益確保や経費削減に努め、引き続き内部留保資金を確保していく必要があると思われる。